

子供の貧困・シングルペアレンツ問題

令和2年11月12日（木）・13日（金）

内閣官房行政改革推進本部事務局

説明資料

主な論点

- 日本では、特にひとり親世帯の子供の貧困率が高く、貧困の連鎖を断ち切るために、子供の貧困問題とシングルペアレンツの問題を一体で議論し、より実効性の高い政策とするための方策を検討する。
- 1日目は、生活基盤の拡充の観点から、シングルペアレンツを中心とした親に対する支援、2日目は学力格差と経済格差の連鎖の解消の観点から子に対する支援を中心に、主に以下の点について参考人の意見も聴きながら議論。

国や地方自治体等、行政の取組の現状を検証した上で、必要とする者に必要な支援を行き渡らせるにはどのようにしたら良いのか。

例えば、

- 関係機関の連携不足が、支援にアクセスする際のボトルネックになっていないか。
- 潜在的な要支援者や要支援予備軍を含めた、対象者を適時・的確に把握するにはどのようにしたら良いのか。

などについて議論